様式１（不当労働行為救済申立書）

申　　　立　　　書

　労働組合法第７条第　　　号違反について、労働委員会規則第３２条により次のとおり申し立てます。

令和　　年　　月　　日

　大分県労働委員会

　　会長　　　　　　　　　殿

申　立　人

組　合　名

　　　　　 代表者職氏名　　　　　　　　　　　　　印

　１　当事者

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申  立  人 | 所在地又は住所 | 組合員数 | 当該事業所  　　　名 |
| 名称又は氏名 | 組合全体  　　　　名 |
| 代表者職氏名 | 上部団体 又は  所属組合 |  |
| 郵便番号  | 他の組合 | 有　組合員数  　　　　　　名  無 |
| 被  申  立  人 | 所在地又は住所 | 事業内容 |  |
| 名称又は氏名 |
| 代表者職氏名 | 従業員数 | 当該事業所  　　　　名 |
| 郵便番号  | 企業全体  　　　　名 |

　注意　１．黒インクで記入してください。

２．不当労働行為を構成する具体的事実の欄は、その行為の年月日、場所、事実、日時を追って簡明に記入してください。背景事情を記入するときは、不当労働行為を構成する具体的事実と区分けしてください。

３．請求する救済内容は個条書に書いてください。

　２　不当労働行為を構成する具体的事実

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

　３　請求する救済の内容

|  |
| --- |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

　　紙面が足りない場合は、別紙を使用してください。